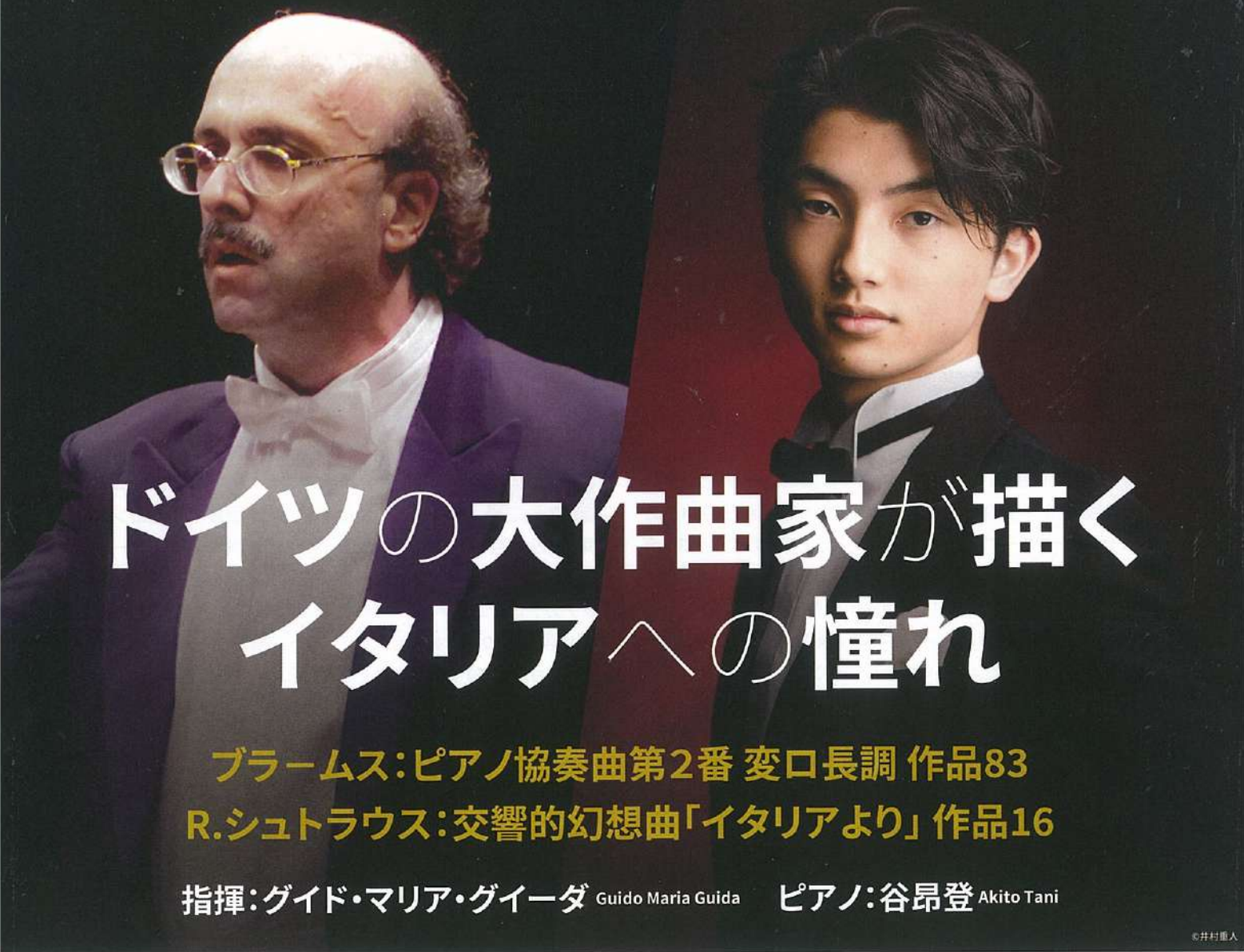


イタリア楽壇の重鎮 × 日本音コンの覇者



# ドイツの大作曲家が描く イタリアへの憧れ

ブラームス:ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83  
R.シュトラウス:交響的幻想曲「イタリアより」作品16

指揮:ガイド・マリア・グイータ Guido Maria Guida ピアノ:谷昂登 Akito Tani

©井村重人


**8/20** 2023 [日] 13時開場/14時開演 **東京芸術劇場 コンサートホール**

パシフィックフィルハーモニア東京 第158回定期演奏会

定期会員先行発売:5月9日[火] 一般発売:5月16日[火]

S席:7,000円 A席:5,500円 B席:4,500円 C席:3,500円

ご予約・お問い合わせ:PPTチケットデスク **03-6206-7356** (平日10-18時)

パシフィックフィルハーモニア東京  [ppt.or.jp](http://ppt.or.jp)

主催:一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京 助成:芸術文化振興基金



公益社団法人企業メセナ協議会 助成認定活動



PACIFIC  
PHILHARMONIA  
TOKYO NORICHICA IIMORI  
MUSIC DIRECTOR

伝統に「革新」を取り入れる。

13th  
PPT CONCERT



今回の定期演奏会は、2曲ともにドイツの作曲家がイタリア旅行からインスピレーションを受けて作曲した作品という『隠れた』共通項を持っている。ブラームスは1878年の最初のイタリア旅行ではじめて陽光まぶしいイタリア、ローマやナポリ、フィレンツェ、ヴェネツィアといった街を訪れ、「魔法にかかったような日々」を過ごした。そして第2回のイタリア旅行から帰った後に一気に完成させたのがこのピアノ協奏曲第2番である。この曲はイタリアで受けた印象を基に書かれているため、ブラームスにしては明るい基調で貫かれているのが特徴だ。

後半のR.シュトラウスの「イタリアより」もまたイタリア旅行を題材としている。1886年にマイニンゲンの職を辞したシュトラウスは、か

ねてよりブラームスが薦めていたイタリア旅行を敢行、この時にシュトラウスはスケッチを進め、帰国後に一気に書き上げたのがこの曲だ。この時、事件が勃発した。当時かの地で流行していたコマールソング「フニクリ・フニクラ」を、シュトラウスは古くからの民謡と勘違いして第4楽章に使ってしまったため、本来の作曲者のルイーゼ・デンツァから著作権料を請求されるというオチが付いてしまった。

かつてパイロイトの常連であったジュゼッペ・シノーポリのアシスタントを務め、彼と同じくイタリア人ながら、『ニーベルングの指輪』全曲をはじめ、数々のドイツ・オペラに精通しているグイド・マリア・グイェーダがタクトを執る。なんとも楽しみなコンサートとなりそうだ！



**指揮：グイド・マリア・グイェーダ** Guido Maria Guida

トリノとミラノの音楽院でピアノ・作曲・指揮科を卒業後、パリ・エコールノルマル音楽院とシエナ・キジアーナ音楽院で研鑽を積む。1982年から1994年の間、ジュゼッペ・シノーポリのアシスタントとして多くのオーケストラやオペラ・プロダクションに参加。これまでにドイツ・ベルリン響、シュトゥットガルト放送響、RAIイタリア国立響、ハンガリー・フィルなどに客演。1995年には、RAIイタリア国立響を率いて日本ツアーで成功をおさめた。またソウル・オペラ、ロサンゼルス・オペラ、メキシコシティのベラス・アルテスオペラ、ブエノスアイレスのテアトロ・コロロンなどに客演している。



**ピアノ：谷昂登** Akito Tani

桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後、現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに特待生として在学中。第90回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞(聴衆賞)受賞。第18回東京音楽コンクールピアノ部門第2位(最高位)及び聴衆賞をはじめ、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール特別賞、第38回霧島国際音楽祭賞、第1回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際オンラインピアノコンペティション第1位など受賞多数。これまでに読響、東響、東フィル、広響、新日フィルなどのオーケストラと共演。現在、岡本美智子、鈴木弘尚、永野栄子の各氏に師事。ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。



**管弦楽：パシフィックフィルハーモニア東京** Pacific Philharmonic Tokyo

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、レコーディング、メディア出演、ポップス演奏会など幅広く活動。2018年からは楽団誕生の地・練馬で定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。音楽監督：飯森範親、指揮者：園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー：藤原いくろう

**チケット購入**

定期会員先行発売：5月9日[火] 一般発売：5月16日[火]

**S:7,000円 A:5,500円 B:4,500円 C:3,500円**

パシフィックフィルハーモニア東京 [ppt.or.jp](https://ppt.or.jp)



PPTチケットデスク(平日10-18時) **03-6206-7356**

**プレイガイド**

・東京芸術劇場ボックスオフィス：0570-010-296(ナビダイヤル)

・チケットぴあ <https://t.pia.jp>



・イープラス <https://eplus.jp>



**割引**

・シニア割引：10%OFF (60歳以上) ・ユニバーサル割：10%OFF (障害者手帳をお持ちの方)

・U25割：50%OFF (25歳以下)

・団体割：10%OFF (10名様以上でのご予約者全員)

※この他の割引に関しては楽団のWEBサイトをご覧ください。

**会場**

**東京芸術劇場 コンサートホール**



〒171-0021  
東京都豊島区西池袋  
1-8-1  
JR・東京メトロ・東武  
東上線・西池袋各  
線池袋駅西口より徒  
歩2分、駅地下出口  
2b直結

**メールマガジン・SNS**

**最新情報・お得な情報はここから**



LINE Twitter Instagram Facebook メールマガ登録

[注意事項] ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。 ※公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しは行いません。